

機械器具 2 3 聴力検査用器具

管理医療機器 手動式オーディオメータ JMDNコード：41184000

オーディオメータ

【形状・構造及び原理等】

該当規格 JIS T 1201-1:2011

本機は、EMC規格 JIS T 0601-1-2:2012 に適応しています。
本機は、被検者数のタイプで、一人用、二人用、五人用がありますので、人数に応じた数量のイヤホンセットし、このタイプ表示として NCA-1、NCA-2、NCA-5 の記号を使用しています。

オーディオメータ NCA-1（一人用）

オーディオメータ NCA-2（二人用）

オーディオメータ NCA-5（五人用）

＜作動・動作原理＞

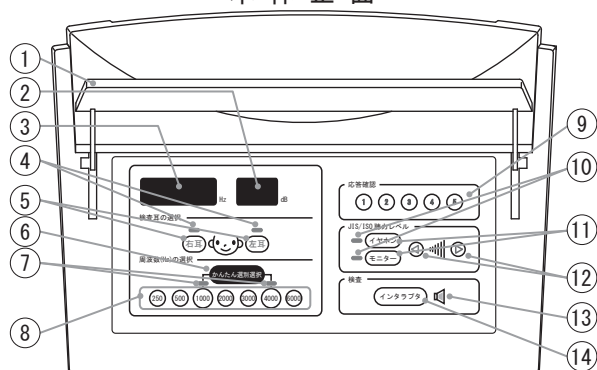
検査者が指定する周波数と聴力レベルの検査音をイヤホンに出力します。被検者は検査音が聞こえたら応答スイッチを押して聞こえたことを通知します。検査者は操作パネルのイヤホン番号に対応した応答スイッチ表示を確認し、指定した検査音に対する被検者聴覚を記録します。検査者は、順次検査音を変化させ被検者の聴覚を記録し、被検者の聴力検査記録とします。

また、付帯的な機能としてスクリーニング検査（特定の検査音を発生しその検査結果を記録する機能）を「かんたん選別選択ボタン」として装備しています。

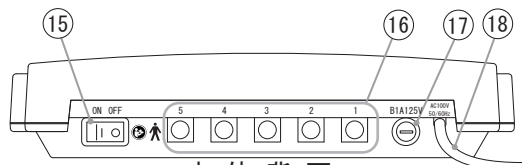
児童、生徒の聴力検査用として学校保健安全法に基づいた選別聴力検査（1000Hz・30dB、4000Hz・25dB）を簡単に行うことができます。

＜形状等＞

本体正面

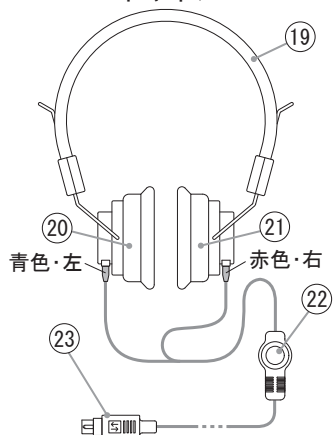


パネル面のデザインは機種によって異なります。



本体背面

イヤホン



番号	名 称	説 明
①	パネルカバー	正面パネルのカバーです。
②	JIS/ISO聴力レベル	聴力レベルまたはモニター音量を表示します。
③	周波数表示	検査音の周波数を表示します。
④	左右耳表示ランプ	左耳側のランプが点灯しているとき、左のイヤホンから検査音が出ています。右耳側のランプが点灯しているとき、右のイヤホンから検査音が出ています。
⑤	イヤホン切替ボタン	検査音を出すイヤホンの左右切替を行います。
⑥	かんたん選別 選択ボタン	選別検査をオンにします。学校保健安全法で定められた1000Hzと4000Hzの検査が行えます。
⑦	選別設定ランプ	選別設定がオンになっているとき点灯します。
⑧	周波数選択ボタン	検査音の周波数を選択します。 周波数選択ボタンの2000, 3000, 4000, 6000を同時に押すと、検査音の出力を連続音とするか、自動断続音とするかを切り替えることが出来ます。 (検査音の状態はモニターで確認出来ます。)
⑨	応答ランプ	被検者が応答スイッチ⑫を押したときに点灯します。
⑩	イヤホンランプ および モニターランプ	イヤホンランプが点灯中は、聴力の検査を行うことができます。モニターランプが点灯中は、内蔵のスピーカーで検査音を確認することができます。
⑪	イヤホンボタン および モニターボタン	検査音をイヤホンから出すか、モニターから出すかを切替えます。 検査音をモニターから出すことで、検査音の状態（連続音か、自動断続音か）を確認することが出来ます。
⑫	音量ボタン	聴力レベルやモニター音量を5dBずつ上下します。
⑬	出力信号ランプ	ランプが点灯しているときにイヤホンあるいはモニターから検査音が聞こえ、消灯しているときには検査音は遮断されています。
⑭	インタラプタボタン	検査音を断続します。出力信号ランプが点灯しているときに検査音が出ます。
⑮	電源スイッチ	電源をオン・オフします。
⑯	イヤホン接続端子	イヤホンを接続する端子です。端子への抜き差しは必ず電源が切れている時に行ってください。
⑰	ヒューズホルダー	電源のヒューズを入れます。
⑱	電源コード	家庭用のAC100Vコンセントへ差し込みます。
⑲	ヘッドバンド	イヤホンが耳に当たるように調節してください。
⑳	左のイヤホン	左耳のイヤホンです。（青色側）
㉑	右のイヤホン	右耳のイヤホンです。（赤色側）
㉒	応答スイッチ	検査中、検査音が聞こえたときに被検者が押します。応答スイッチを押すと、本体の応答ランプ⑨が点灯します。
㉓	イヤホンプラグ	本体背面のイヤホン接続端子へ差し込んでください。プラグの抜き差しは、電源が切れている時に行ってください。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用目的又は効果】

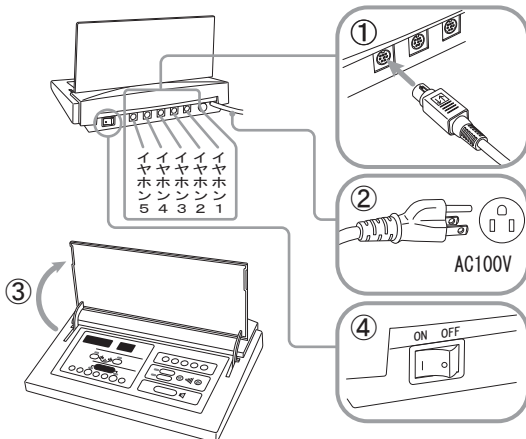
- 1) 性能 JIS T 1201-1:2011 タイプ4
- 2) 使用目的
聴覚機能の検査に使用します。

【使用方法等】

機器の詳細な使用方法は、付属の取扱説明書の「使用方法」をお読みください。

1) 準備

- ① イヤホンを本体に接続する。
イヤホン1～5に従い、本機背面よりイヤホンプラグを根元までしっかりと差し込んでください。
**注意：電源スイッチを入れる前に必ず行ってください。
イヤホン1～5の差し間違えは誤診につながります。
イヤホンプラグをしっかりと差し込まないと
接触不良が生じ、誤診につながります。**
- ② 電源コードのプラグを壁のACコンセントに差し込む。
- ③ パネルカバーを開く。
- ④ 電源スイッチをオンする。
電源が入り、周波数表示やJIS/ISO聴力レベルなどが表示されます。



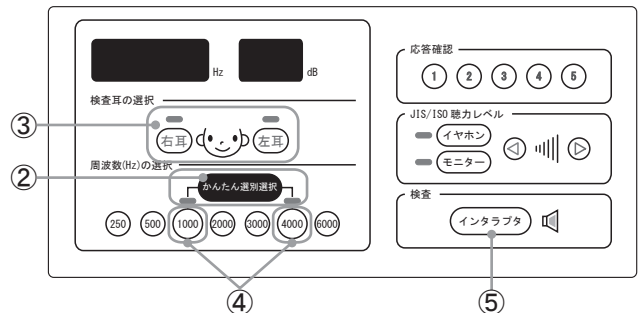
2) 検査

このオーディオメータには、学校保健安全法にもとづいた1000Hz・30dBおよび4000Hz・25dBの選別検査が効率よく簡単にできるように、「かんたん選別選択」という機能があります。

- ① イヤホンのヘッドバンドを被検者の頭に掛ける。
このとき、イヤホンが被検者の耳に当るようにヘッドバンドの高さを調節してください。
- ② 選別設定ランプが点灯していることを確認してください。
選別設定ランプが点灯していないときは、かんたん選別選択ボタンを押してください。
※選別設定ランプが点灯しないときは・・・
モニター機能が入っていませんか？モニターランプが点灯していたら、イヤホンボタンを押してモニター機能を切ってから、もう一度かんたん選別選択ボタンを押して下さい。
- ③ イヤホン切替ボタンを押して、左右を選択する。
○左耳の検査をするときは左耳のボタンを押します。
○右耳の検査をするときは右耳のボタンを押します。
- ④ 周波数選択ボタンを押して周波数を選択する。
○1000Hzの検査をするときは1000のボタンを押します。
聴力レベルは自動的に30dBにセットされます。
○4000Hzの検査をするときは4000のボタンを押します。
聴力レベルは自動的に25dBにセットされます。
- ⑤ インタラプタボタン（または遮断ボタン）を押して、検査音を断続する。
- ⑥ 被検者には、音が聞こえているときその合図として応答スイッチを押してもらいます。応答スイッチを押すと応答ランプが点灯します。音が確実に聞こえているか確認してください。
- ⑦ 左右両方の耳で、それぞれ1000Hz、4000Hzの検査を行いましたら終了です。
※1000Hz・30dBあるいは4000Hz・25dBの音を両方または片方いずれでも聴取できない被検者は、再検査を行ってください。

※周波数選択ボタンの2000, 3000, 4000, 6000を同時に押すと、検査音の出力を連続音とするか自動断続音とするかを切り替えることができます。

※切り替え操作を行った際には、モニター機能、モニターランプで動作が切り替わっていることを確認して下さい。また、切り替え操作時に周波数が変わってしまうことがあります。周波数が切り替わってしまった場合は、周波数選択ボタンで周波数を選んでください。

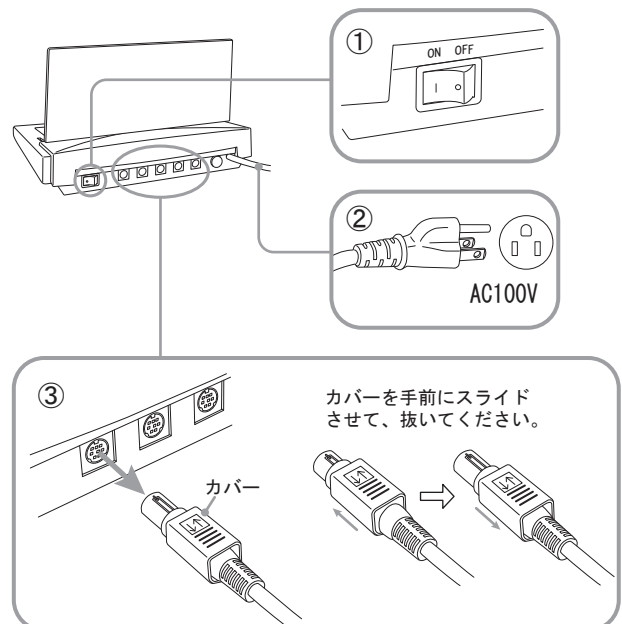


※より詳しく検査を行う場合には、取扱説明書の11ページをお読みください。

3) 終了

検査が終了し、長時間使用しないときは下記の要領で電源を切り、ご購入した時に入っていた箱に収納することをお奨めいたします。また、検査の途中で本機を移動する場合にも、同様に電源を切り、すべての配線を外してから行ってください。

- ① 電源を切る。
電源スイッチを切ってください。
- ② 電源プラグをコンセントから抜く。
コードを引っ張ると、ケーブルが傷ついて火災や感電等の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。
- ③ イヤホンプラグを抜く。
イヤホンプラグのカバーを持ち、プラグのカバーを手前にスライドさせながら外してください。
コードを引っ張って抜くと、ケーブルが傷ついて誤動作や火災・感電等の原因となります。
- ④ 購入時に収納されていた箱やキャリングケースなどにしまってください。



【使用上の注意】

重要な基本的注意

準備・使用方法

- ・火災・感電の原因となります。電源は、AC100Vをお使いください。
- ・感電事故を起こすおそれがあります。電源プラグは、保護接地付コンセントに接続してください。
- ・火災や爆発を起こすおそれがあります。可燃性ガス雰囲気中では使用しないでください。

異物・液体

- ・内部に水、液体等が入ると、火災、感電の原因となります。万が一内部に液体が入った場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

【保管方法及び有効期間等】

次の条件を満たす環境で保管すること。

- 1) 保存温度範囲 -10 ～ 60 ℃
- 2) 保存湿度範囲 10 ～ 80 % (但し、結露なきこと)
- 3) 保存気圧範囲 76 ～ 106 kPa

また、ご使用時には次の条件を満たす環境で行うこと。

- 1) 温度範囲 15 ～ 35 ℃
- 2) 湿度範囲 30 ～ 80 % (但し、結露なきこと)
- 3) 気圧範囲 76 ～ 106 kPa
- 4) 電源電圧 A C 90 ～ 110 V (50/60Hz)

使用期間は、毎年校正を行うことにより5年となります。

【保守・点検に係る事項】

正しい検査結果を得るには、オージオメータが正常に動作し、かつその性能がつねに良好に維持されることが必要です。オージオメータは、定期的に性能点検と校正を行うことにより、長期間信頼できる性能を維持することができます。

1年に一度、点検と校正を行ってください。

点検および校正は、お買い求めの販売店へご依頼ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

〔製造販売業者〕

名称： 株式会社幸大ハイテック
住所： 〒348-0016
埼玉県羽生市大沼2丁目4番地
電話： 048-565-1511

※本書に出てくる図や名称は代表的な機種のものです。

機種によってパネル面のデザインやボタン名等が多少異なります。